

大草谷津田いきものの里 自然観察会

夏の谷津田はムシ天国

西野孝法（千葉市）

日時：2023年7月16日（日）9時30分～11時30分 天気：晴れ

参加者：8家族24名（大人11名 子ども13名）

担当指導員：遠藤、萩、岡田（敬）、伊藤、西野

梅雨明け間近の強い陽射しが降り注ぐ中で、8家族24名が参加し、たくさんの生き物たちと触れ合った観察会となりました。

開催は、熱中症を考慮して、9時30分開始でしたが、さらに観察会途中でクールダウン及び水分補給の時間を設けて参加者の体調に考慮しました。

参加者は、生き物及びムシ大好きで網と飼育ケースを持った姿から「さあ、ムシを見つけるぞ！」という意気込みが出ていました。

観察会を始めると参加者は、ニイニイゼミの抜け殻、マメコガネ、オオヒタラタシデムシを見つけて大いに盛り上がり、さらに原っぱでは、ショウリョウバッタ及びオオカマキリ、コカマキリの幼虫の採集に夢中になりました。カマキリの幼虫を捕まえて「これ何かマキリの幼虫？」と質問してくるので、カマキリの簡単な見分け方を説明しました。

谷津田付近では、ヒグラシのオスを採集、翅が4枚あることなどセミの体を説明し、腹をつまんで鳴かせるなどのムシ遊びを行いました。樹液が染み出ている木で、コクワガタ、ヨツボシケシキスイなど樹液に集まるムシを観察、観察路ではカブトムシ、ノコギリクワガタのバラバラになった体を見つけたので、体をバラバラにした犯人当てクイズを行いました。

谷津田では、トンボ採りを行いました。素早く飛ぶトンボに苦戦するものの暫くするとトンボの動きに慣れて上手く網に入るようになりました。その他にもオオムラサキ、アカボシゴマダラなども現れて大草谷津田の豊かさを実感できるものとなりました。

最後に、「たくさんのムシと会えて楽しかった。」「ムシ遊び体験ができて楽しかった」「見過ごしていたムシがたくさんいたことに気づいた」など感想をいただき、こちらからは、「これからも積極的にたくさんの生き物と触れて、自然を楽しんで欲しい」と伝え解散しました。

